

明賀孝子議員



質問① 朝日丘住宅地につながる道路整備について

問 経年の自治会案件でもあり、昨年6月にも一般質問がなされ、具体的時期と整備内容が示されました。しかしながら、現状は変わっていません。

答 地域住民の強い案件でもある道路整備であります。現状進行状況を伺います。

問 土石流警戒区域は町内に何か所あり、その中でも朝日丘は、住宅地の3分の2程度が区域内に入っています。過去、大雨による影響で唯一ある道路が通行できなくなりました。

問 荒木町長が公約で述べられた安心で安全な町づくりはこんなところから始まるのではないのでしょうか。町長の考えをお聞かせください。

答 間違えなく起きうる自然災害が頻発しており、町民の安全を守る取り組みに全力を尽くしてまいります。自然災害時は早急な対策が求められる事は確かです。今回の状況を踏まえ、避難路、避難所の再整備、備蓄品の充実、様々な条件下を想定した中で、全町的な対応を進めたい。

質問② 備蓄庫設置の現状と道路整備について

問 町内備蓄庫は年次計画によって設置されています。その様な状況の中で見えてくる課題等について町民からの要望もありましたので質問致します。

答 現在の町内備蓄庫の設置状況と今後の予定を教えてください。

問 3か年計画で進めていた15か所について全ての設置が完了した所です。この他にも鶴苦地区中間点の高台に1か所避難ルートを整備したい。

問 各備蓄庫にある食品が期限まじかになった場合、対応はどの様に考えますか。



▲朝日丘生活道路

水野洋一議員



質問① アポイ岳に成育している蝶『ヒメチャマダラセセリ』や、寄贈された蝶の役割や啓発活動について

問 『ヒメチャマダラセセリ』が、国の天然記念物に指定されて50年の節目の年になりますが、記念事業等について予定されているか。

答 『ヒメチャマダラセセリ』は、1973年（昭和48年）に、北海道大学の昆虫研究会の学生によって発見され、1975年（昭和50年）2月13日付けで、国の天然記念物に指定され、今年で指定から50年の節目を迎えました。指定された1975年には、北海道新聞社から「北海道の高山蝶『ヒメチャマダラセセリ』という本が発行されました。また、この発見を題材とした『発見くアポイの夢』という演劇が1976年に、札幌藻岩高校演劇部により制作・上演されました。2016年（平成28年）には、中央公民館の開館40周年事業のひとつとして、先ほど申し上げた演劇「発見くアポイの夢」が、苫小牧市の劇団「群（むれ）、73」によって上演され、ヒメチャマダラセセリを発見した当時の学生の方々による講演会を開催し、ヒメチャマダラセセリ発見後のあゆみや、現代の課題を知る機会となりました。天然記念物指定50周年となる今年は、（年度としては前年度になります）3月に「魅惑のチョウ展 大和コレクション」と題した郷土館企画展を開催し、その中でヒメチャマダラセセリに関する解説をパネルで紹介しました。

問 今年、記念事業としての開催はできませんでしたが、来年度（2026年 令和8年）は、中央公民館の開館50

問 周年を迎えることもありますので、その一環として、事業を行いたい。

答 昨年、著名なコレクターより町に寄贈された、蝶の標本について、寄贈の経緯、その内容の概要と数、その貴重性について



アポイアズマギクとヒメチャマダラセセリ

問 昨年、著名なコレクターより町に寄贈された、蝶の標本について、寄贈の経緯、その内容の概要と数、その貴重性について